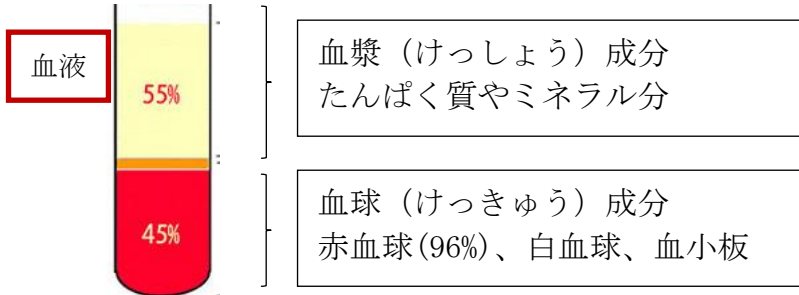


① 血液って何？

血液とは、出血した時に血管から出てくる赤い液体のことです。これは3系統の細胞（赤血球、白血球、血小板）と液体（タンパク質やミネラル分などが溶けた水で血漿とも呼びます）でできています。



血液の役割は、様々な栄養分を全身に送り届けることに加えて、3系統の成分それぞれの働きが重要です。

赤血球…肺で取り込んだ空気中の酸素を、全身に送り届ける役割を担います。もう少し簡単にいうと、酸素というお客さんを乗せるタクシーのようなものです。



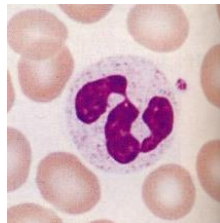
赤血球



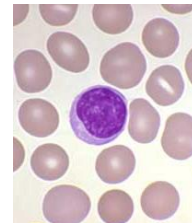
酸素

白血球…外界や体内に潜むバイ菌やウイルス、カビなどから身を守ります。いわゆる交番のお巡りさんや、自衛隊のような役割をもっています。細胞内に顆粒（つぶつぶ）を持つ顆粒球（代表選手は好中球という細胞です）と特殊なリンパ球という細胞に大別できます。

顆粒球



リンパ球



血小板・・・怪我した時にできるかさぶたの成分です。つまり止血に関与いたします。

